



大城 毅 議員

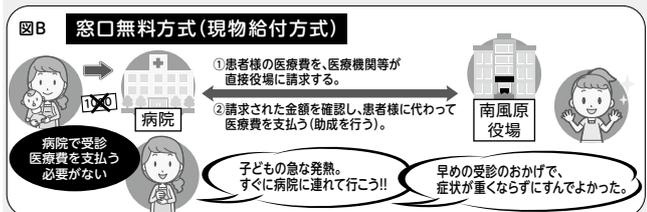
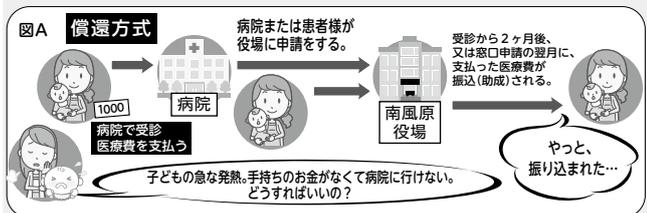
[答]
重度心身障害者医療費助成の窓口無料化を要請する

問 2022年度から県のこども医療費助成制度の年齢拡大で、町の負担はいくら軽減されるか。

副町長 令和元年度ベースで県からの補助金が4,400万円増額の見込となる。重度心身障害者医療費助成の実績は歳入2,705万円、歳出6,200万円、助成方式は自動償還となっている。

問 軽減見込額を、窓口で支払のある重度心身障害児医療費助成制度の窓口無料化に活用できないか。

副町長 窓口無料にすると町の負担増につながり、厳しい。



問 重度の障がい児を持つ家庭はただでさえ負担が大きい。窓口無料にするべきではないか。

民生部長 障がいをお持ちの方も、付き添いで病院へ行くなど負担があることを承知している。重度心身障害者医療費助成も窓口無料を県に要請していく。町の財政負担が軽くなる分は福祉の充実に充てたい。

こんな質問もしました。
●町の施策、計画に町民の声はいかされているか

問 現在、本町の各小中学校に多目的トイレはどの程度設置されているか。

学校教育課長 南風原小学校4、津嘉山小学校3、北丘小学校7、翔南小学校2、南風原中学校3、南星中学校3となっている。



金城 憲治 議員

LGBTに配慮した多目的トイレ設置を

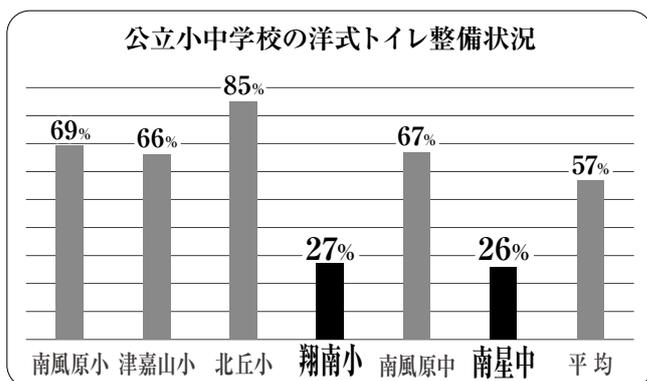
[答]
必要性については十分に認識している

問 本町の公立小中学校の洋式トイレの整備状況は。

教育長 南風原小69.2%、津嘉山小66.2%、北丘小84.9%、翔南小27.3%、南風原中66.7%、南星中25.8%となっている。

問 翔南小、南星中の設置率が低い。その他の学校は約70%近く洋式化されている現状をどう考えるか。

教育総務課長 大規模改修を行った学校については設置率が高い、今後低いところについても前向きに検討する。



問 子どもたちの教育環境を考えた場合、毎年改善する計画を要望したいがどうか。

教育長 改めて翔南小、南星中の洋式率の低さを痛感している。全ていっぺんにということはかなり厳しいと思うが、少なくとも町内の平均値ぐらいまでは、財政と調整し洋式化に向けて取り組む。

QRコードを読み取ることで各議員の質問の様子を見ることができます。